

岡谷市史編さんの今後の方向性について

令和 6 年 3 月 生涯学習課

1 市史の編さん方法

- (1) 住民からなる市史編さん委員会を組織して、基本構想や編集方針を協議する。
- (2) プロポーザル方式により業者を選定して、執筆、編集及び印刷製本業務を委託する。
- (3) 市史編さん委員会、市教育委員会及び市長部局内部で原稿の校正、確認作業を行う。

2 スケジュール

既刊市史の収録範囲（昭和 53 年まで）以降、令和 8 年（90 周年）までの約 50 年間を収録対象とし、令和 8 年度に編集の業務委託を始め、令和 12 年度末に刊行予定とする。

刊行後も、次期の編さんに向けて資料保存体制を構築しながら、資料収集やデジタル化を継続する。

市制施行 周年	88	89	90	91	92	93	94	95
作業項目\年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
編さん室設置	←	→						
編さん委員会		←	→					
関係団体等への周知		←	→					
基本構想・方針策定	←	→						
業者選定・契約			←	→				
新市史編集			←	→				
資料収集・整理	←	→						
資料のデジタル化	←	→						
既刊市史の点検・補遺	←	→						
広報（編さん室だより）	←	→						
資料保存体制の検討	←	→						

3 事業費

（金額単位：千円）

年度	R6	R7	R8	3 年間計	R9～R12	合計
周年	88	89	90		91～94	
事業費	9,692	18,202	16,884	44,778	約 80,000	約 130,000

4 組織体制

イルプラザ3階生涯学習活動センターに、岡谷市史編さん室を設置する。
（岡谷市教育委員会規則による教育等機関）
設置要綱は別紙のとおり

